

所属	人間社会学部・公共社会学科	職名	教授	氏名	文屋 俊子
----	---------------	----	----	----	-------

1. 教員紹介・主な研究分野

東京都立大学大学院社会科学研究所博士課程満期退学。専門は都市社会学。

1993年に本学に着任。

<研究分野>

①地域における社会関係

研究分野である都市社会学、地域社会学は、地域に起きるさまざまな現象を科学的にとらえ分析することです。この過程を通じて、地域問題の解決に指針を与えることができたなら、という願いを込めて研究しています。

②イタリアの地域社会研究

地方の小さな街がどうやれば自立的に存在可能なのか、この点からイタリアの地域社会の事例に学ぶものが多いと思ひ、数年前から短期間の参与観察を続けています。

③筑豊地域の交通体系に関する研究

ここ2年ほど筑豊地域の交通体系研究会を主催していました。これは2004年の平成筑豊鉄道調査からの継続研究ですが、2007～2008年度の福岡県産炭地域振興センターの受託研究として発展したものです。受託研究終了後も「地方交通と地域社会の振興」をテーマに研究を継続しています。

- ・研究分野とはいいいがたいですが、ここ数年、本学FD部会に責任を果たしており、全国の大学FDの動向や考え方、授業改善の進め方等を学ぶ機会が急速に増えています。FDとは、学生にとって良い大学教育を提供するための各段階での努力です。

2. 研究業績

①最近の著書・論文

文屋俊子 筑豊地域の交通体系検討事業研究報告書、2009年3月、100頁。

茂木豊、文屋俊子、三隅譲二、佐藤繁美。「地域生活の総合的満足度の意味及び生活の質に関する質問項目との関係」、福岡県立大学人間社会学部紀要、18(1),2009年。

福田恭介・文屋俊子・夏原和美・宮崎昭夫、「学生による比喩表現を用いた現実と理想の授業評価」福岡県立大学人間社会学部紀要 17 (2), 81-93. 2009年。

②その他最近の業績

文屋俊子 地域魅力再発見プロジェクト「田川地域郷土かるたづくり」『「癒学の郷」たがわの創生－田川地域長期振興戦略プラン－』9. 田川地域長期振興戦略詳細プラン、66～80頁、2007年10月。

③過去の主要業績

文屋俊子「イタリア地方都市の地域社会と地縁組織(2)－シエナ市民のアイデンティティ－」『福岡県立大学紀要』14(1), 2005年。

文屋俊子「団地の近所づきあい」森岡清志・松本康編『都市社会学のフロンティア 2 生活・関係・文化』121-151頁、日本評論社、1992年。

文屋俊子「団地のイメージ」倉沢進編『大都市の共同生活』日本評論社、1990年。

文屋俊子「大都市周辺地域の都市化」『社会学評論』148号、37-4、1987年。

3. 外部研究資金

4. 受賞

5. 所属学会

日本社会学会
日本都市社会学会
西日本社会学会
社会分析学会

6. 担当授業科目

(学部)

都市社会学・2単位・1年・前期、地域社会学Ⅰ・2単位・1、2年・前期、
地域社会学Ⅱ・2単位・2年・後期、コミュニティ論・2単位・2年・後期、
社会調査実習・2単位・3年・通年、データ分析の基礎・2単位・3年・前期、
社会学研究法Ⅰ・1単位・3年・前期、社会学研究法Ⅱ・1単位・3年・後期、
卒業論文・10単位・4年・通年

(大学院)

地域社会研究・2単位・1,2年・前期、 地域社会演習・2単位・1、2年後期

7. 社会貢献活動

福岡県公益認定等審議会 委員(平成20年12月より)
福岡県農村地域直接支払制度検討委員会 委員
福岡県交通対策協議会委員 (平成22年3月まで)
田川市都市計画審議会 副会長
田川市地域公共交通会議 副会長
田川市立図書館運営委員

8. 学外講義・講演

福智町職員研修会 講師

9. 附属研究所の活動等